

富山湾初記録のシマハナビラウオ *Psenes maculatus*

伊串祐紀・稲村 修 (魚津水族館)

日本で生息が確認されているエボシダイ科魚類は8種類である(中坊, 2000)。これまで、富山湾ではハナビラウオ *Psenes pellucidus* 1種のみが記録されていたが、今回、未記録のシマハナビラウオが捕獲されたので報告する。

エボシダイ科 Nomeidae

シマハナビラウオ

Psenes maculatus Lütken



採集年月日：2009年2月23日

採集地：魚津市早月川沖 水深約70m

採集者：魚津水産株式会社

全長 270mm, 体長 220mm

頭長 70mm, 体高 67mm

吻長 22mm, 上顎長 25mm

眼窩径 17mm

体重 263g

鰭条数：背鰭 X-21；臀鰭 III-21

胸鰭 22；腹鰭 I-5

本種は英虞湾, 和歌山県田辺市沖, 太平洋, 大西洋, インド洋に生息するとされる(中

坊, 2000)。主な特徴は、鰓蓋にまで達する無鱗域であり(中坊, 2000)、本個体も同様の特徴を示した。

日本近海での漁獲例はほとんどなく(中坊, 1984)、近年の明確な記録としては2003年9月に東京都大島筆島の定置網で捕獲されたものがある(東京都島しょ農林水産総合センター, 2003)。

富山湾におけるシマハナビラウオの捕獲記録はなく、本個体が富山湾での初記録である。魚津市の漁業関係者に聞き取りを行ったところ、稀に漁獲されるとの話であったが、ハナビラウオとの区別はされていなかった。

なお、本個体はホルマリン標本として当館で保存している。

引用文献

中坊徹次. 1984. エボシダイ科 解説, 益田 一 編. 日本産魚類大図鑑〈解説〉第二版. 東海大学出版会. 226-227.

中坊徹次. 2000. エボシダイ科 解説, 中坊徹次 編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第二版. 東海大学出版会. 963.

引用 web

東京都島しょ農林水産総合センター. 2003. 珍魚採集報告第18号.

<http://www.ifarc.metro.tokyo.jp/27,2623,55,228.html>